



# 北区の部屋だより

## 2023年6月 第166号



刊行物登録番号 4-2-135

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和5年6月発行

北区こぼれ話  
第166回

## 人が車を避ける社会から人中心の社会へ

### ～歩道橋の話～



最近、街中から歩道橋が減ったなあと感じているのは私だけでしょうか？久しぶりの場所を歩いていると「あれっ？！前ここに歩道橋あったよなあ？」と思うこともしばしばで、バリアフリー化が叫ばれるなか、階段の上り下りを強いることとなる歩道橋が敬遠され、老朽化した歩道橋が修復、再建されることなく、結果、撤去されているという話も耳にします。

交通量の多い幹線道路が区内を縦横に走る北区にも多くの歩道橋がありました。北区で最初に架けられた歩道橋は昭和41年（1966）1月、環状7号線神谷1丁目付近に架けられた神谷歩道橋です。環状7号線を渡らなければならない神谷小学校の児童のために架けられたといえます。そして、この年の10月には国道122号線（北本通り）岩淵町に岩淵歩道橋が架けられました。ここにも、近くに第四岩淵小学校があります。その後、昭和42年（1967）に新たに6つ、昭和43年（1968）には4つ、そして昭和44年（1969）には9つと（『新修北区史』1313頁）次々に歩道橋ができていき、昭和51年（1976）には区内の歩道橋は47にもなりました（『区政概要』1976年版）。最初に神谷歩道橋が造られてからわずか10年、まさに歩道橋が高度成長期を象徴する建造物だといわれる所以です。しかし、昭和63年（1988）まで続いた47という数字は平成に入ると減少に転じ、平成元年（1989）4月時点で44（『区政概要』1990年版）、平成20

年（2008）には35まで減少し（『北区行政資料集』2009年版）、令和3年（2021）に至っては30となっています（同、2022年版）。歩道橋には交通混雑の緩和など様々な役割が求められていますが、最大の目的は多発する交通事故から人を護るため、人命尊重の観点から建設されたと考えて間違いのないでしょう。しかし、車優先、歩行者が車を避けなければならない社会となったことは紛れもない事実で、「自動車の流れはついに歩行者から道路を奪った」（『新修北区史』1312頁）とすら語られます。こうした歩道橋が姿を消すことは、一方で人々のものの考え方や社会のあり方が当時とはまた大きく様変わりしていることを意味します。高齢化という大きな課題を背景にしつつも、少し人にやさしい社会が求められるようになってきたと理解することもできるのではないのでしょうか。

ふだん何気なく見ている街の風景も様々なかたちで時代を反映しています。こうした変化に気づきながら、いつもの道を歩くのも楽しいですよ。

【地域資料専門員 保垣孝幸】



北区で最初に架けられた環状7号線の神谷歩道橋（1970年頃 北区撮影）

## 北区の部屋・今月の展示 「八代将軍 徳川吉宗、北区へ！」

■展示期間 5月26日（金）～6月21日（水）

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

八代将軍徳川吉宗が初めて北区域を訪れた享保5年（1720）8月11日の鷹狩の行程を、現在の様子で辿り紹介します。



王子神社（2017年10月 北区撮影）

初めて北区域を訪れた将軍吉宗は、現在の北区役所付近にあった金輪寺で昼食をとった後、帰りがけに王子権現（現在の王子神社）にも参拝しました。



## 古文書入門講座『いろはの「い」』開講しました！

5月12日（金）に令和5年度の古文書入門講座『いろはの「い」』（全6回）が開講いたしました。古文書を読み解くための基礎知識と字典の使い方を学びます。テキストの大半は実際に北区に残る江戸時代の古文書の写しを使用。くずし字を一文字ずつ読み解いていく過程で講師からその時代背景のお話も聞けるので、文字を読み解くと同時に江戸時代の北区の村々の様子や農民の生活も知ることができます。真剣に取り組む受講生の皆さんの姿勢から、古文書や北区の歴史への関心の高さがうかがえました。



講師：日本近世史研究家  
保垣孝幸 地域資料専門員

## ～地域資料・新着図書のご案内～

北区教育委員会が北区教育ビジョン2020における重点事業「北区ゆかりの偉人を学ぶ事業」の一環として作成している、渋沢栄一翁副読本『LOVE LIVE LEAD～北区を愛し、北区に住み、世界をリードした渋沢栄一翁～』（小学校第3学年～第6学年版、中学校第1学年～第3学年版）の令和5年4月版（第3版）入荷しました。この本は区内全区立小学校の第3学年と区内全区立中学第1学年に配布されています。

区内全図書館の渋沢栄一関連書籍コーナーにございます。よろしかったら手に取ってごらんください。

\*資料番号 小学校版 5121933138・中学校版 5121933179



# 北区の部屋だより

2023年7月 第167号

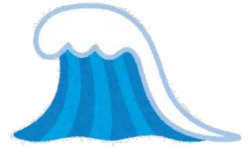


刊行物登録番号 4-2-135

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和5年7月発行



## 危機の中、ハワイ国王が 渋沢栄一に語ったこととは



明治時代の日本を訪れた最初の国家元首は、ハワイのカラカウア国王でした。明治14年(1881)のことです。

当時、ハワイ王国は独立国でした。アメリカから多くの移民と資本を受け入れ、砂糖生産による経済的繁栄と、政治の近代化を目指しました。しかし、しだいにアメリカ系住民の力が大きくなり、逆にハワイ王朝を脅かす存在になっていきました。そこでカラカウア国王が注目したのが日本です。国王は訪日し、明治天皇に政略結婚を申し出ました。ハワイのカイウラニ王女と、やましなのみやさだまろおつ山階宮定麿王の縁組です。同時に、日本人移民のさらなる受け入れを表明してきました。ハワイへの移民は、明治元年に始められていましたが、国王は、アメリカ人移民を牽制するため、日本人移民の増加を望んだのです。移民については合意に至りました。しかし、縁組に関しては、明治天皇からの断りの親書が、「良友睦仁」の御筆を入れた異例の丁重さで作成されました。

この来日の際、カラカウア国王は王子製紙を見学し、飛鳥山渋沢邸を訪れました。渋沢邸での歓迎行事の席で国王は、洋服姿の渋沢栄一に、日本紳士の「常服」じょうふくを見せてほしいと頼みました。そこで栄一は、羽織袴に着替えました。それを見て、国王が発した言葉が、つぎのようなものでした。



其服こそよく日本人に似合ひ、洋服よりも遙かに勝りて見ゆるぞ、海陸武人の服を改正ありしハさる事ながら、如何なれば文官その他の服制までも改正ありしぞ、惜しき事にぞある

(『東京日日新聞』明治14年3月18日)

つまり、栄一の和服姿を見て「その服こそが日本人に似合う。洋服よりはるかに見栄えがするなあ。陸海軍人の服を洋服に改正するのは理由あったことだが、どうして文官その他の服まで改正する必要があるか。惜しいことである」と述べたのです。



写真：渋沢栄一  
(『滝野川町誌』より)

これは、服装のことだけを言っているのでしょうか。それとも、ハワイの行き過ぎた欧米化が、王朝の危機を招いたことを念頭においた発言でしょうか。おうかせいさく欧化政策を服装に例え、日本もハワイのようにならないよう、暗に忠告したようにも受け取れます。

このあと、明治20年(1887)アメリカは真珠湾の独占使用権を獲得するなど、影響力を強めました。明治26年(1893)アメリカ系住民とアメリカ海兵隊によるクーデターが発生し、ハワイ王朝は倒されました。アメリカがハワイを併合したのは、明治31年(1898)のことでした。

【地域資料専門員 黒川徳男】

## 北区の部屋◆今月の展示

### 「関東大震災から 100 年 — 北区域の被災と復興 —」

- 展示期間 6月23日(金)～7月26日(水)
- 展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

大正12年(1923)9月1日、関東大震災が発生しました。北区の被害は、東京市内の下町や臨海部などに比べて小さかったと言われています。それでも、印刷局抄紙部や日本製麻赤羽工場では建物が倒壊し、東北本線の東側から隅田川にかけての地域では、全半壊した民家も少なくありませんでした。都心から北へ逃れる被災者たちは、焼失した上野駅ではなく、田端駅や赤羽駅に殺到しました。

関東大震災から100年目にあたり、北区域で何があったのか、どのような救援があり、震災を契機に何が変わったのか、再確認する展示をおこないます。ぜひ、ご覧ください。



絵葉書「日本製麻株式会社赤羽製品工場之潰倒」黒田写真館



### 平和図書コーナーを設置します

北区では、昭和61年に制定した平和都市宣言を記念し、今年度は8月1日(火)から8月5日(土)までの5日間を『平和祈念週間』とし、平和を願ってさまざまなイベントを行います。図書館では、平和について考えるきっかけになるような本を集め、区内全図書館に『平和図書コーナー』を開設します。

- ◇ 期間 7月28日(金)～8月31日(木) \*休館日を除く
- ◇ 図書館 一般向け展示 中央・滝野川・赤羽図書館にて  
子ども向け展示 全図書館にて

昨年ようすです。  
(中央館)



### 新刊かみしばいのご案内



### 『王子のきつね』(制作:NPO 法人アドリブ)

東京北区のむかしばなしシリーズ(12場面)

「こらあ～!!また、だましたな。このいたずらぎつねめ!!」  
「あはははっ。だまされるほうが悪いのさ。」

東京都北区王子に伝わる、昔話「王子のきつね」が紙芝居になりました。王子のきつねの背景や北区ときつねの結びつきがわかる解説書付きです。おとなも子どもも楽しめる紙芝居です。

区内全図書館で貸出しのほか、中央図書館と区内一部書店で販売(2,000円/税込み)しています。



制作 NPO法人 アドリブ

書誌番号(B 13295286)



# 北区の部屋だより

2023年8月 第168号



刊行物登録番号 4-2-135

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL.03-5993-1125 令和5年8月発行

北区  
こぼれ話  
第168回

## 私たちは結果を知っていますが・・・

慶応<sup>けいおう</sup>3年(1867)10月14日、江戸幕府15代  
将軍徳川慶喜<sup>とくがわよしのぶ</sup>は、天皇へ政権奉還<sup>せいけんほうかん</sup>を上奏<sup>じょうそう</sup>し、翌  
日これが聴許<sup>ちやうきよ</sup>されました。

大政奉還<sup>たいせいほうかん</sup>と呼ばれるこの動きによって徳川将軍  
を頂点とした政治体制は終止符を打ち、次いで  
同年12月9日に発せられた王政復古<sup>おうせいふくこ</sup>の  
大号令によって幕府が廃止され、およそ260年間続いた  
江戸時代<sup>しゅうえん</sup>がここに終焉<sup>しゆうえん</sup>をすることになります。

それでも一つの政権が260年という長きにわたり政治体制を維持し続けたことは世界史上に見ても類はなく、これまでも多くの研究者が、何故幕府はここまで長期にわたる政治体制を維持できたのか、一方で、何故この強固な政治体制が崩壊したのかなど様々な角度から研究を進めてきました。

歴史研究の手法としては、ある意味当然の視角といえますが、当事者である幕府の意識としては、全くの別問題といえます。

元治元年<sup>げんじがねん</sup>(1864)、幕府は西洋式軍備の拡充のため滝野川村に鉄製大砲の製造所を設置することを決定し、工事が始められました。場所は現在の醸造試験場跡地公園です。そこで利用する水車の動力とするため、千川上水を引き入れる堀の延伸、拡張が進められ、また、物資輸送のために石神井川の<sup>かくふくこうじ</sup>拡幅工事も行われました。また、こうした大砲製造所の建設が進むなかで、慶応3年には同じく滝野川村に西洋式火薬製造所の建設が決定し、6月には本格的な実地調査が開始されました。

場所は、石神井川沿い、現在の音無もみじ緑地付近です。北区の歴史に詳しい方々にはよく知られたことかと思いますが、中には「幕府も幕末のこんな時期によく大規模な工事を始めたね。」とおっしゃる方もいます。

「えっ?!」

これはものすごく大きな勘違いなのですが、わかりますでしょうか。幕府は自らが潰れるなんてことは露ほども思っていなかったことを。そもそも「幕末」という言葉自体、幕府による政治体制の末期、幕府制度が終焉することが前提であり、その当時に「幕末」という表現は存在しません。

「こんな時期に・・・」といいますが、<sup>せいおうれつきょう</sup>西欧列強に対抗するため、改めて幕府はその計画を立て準備を進めていたのであり、結果として、それが実現する前に幕府自らが倒壊してしまっただけなのです。

私たちは歴史の流れを知っているので、それを前提に物事を考えてしまいがちです。冒頭示した通り、そのことが歴史を解釈する上で有益に働くことも少なくないのですが、一方で、当事者たちはそんな予見もなく、ただ同時代を一所懸命生き抜いています。当たり前のようなことですが、実は歴史を見る上で忘れがちになってしまう、重要な視点といえるでしょう。

【地域資料専門員 保垣 孝幸】



## 北区の部屋・今月の展示

### 「中山道～北区域を中心に～」

- 展示期間 7月28日(金)～8月23日(水)
- 展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー



木曾街道六十九次板橋之驛 (国立国会図書館所蔵)

徳川幕府は、江戸と各地を結ぶ街道の整備を進める中でも重要な道として、五街道を定めました。中山道は滝野川村の南西部を通っており、村の生活に大きな影響を与えました。今回の展示では、村との関係を中心に中山道を紹介します。



### 平和図書コーナー開設しました

図書館では北区をあげて行われる平和祈念週間のイベントの一環として、区内全図書館に「平和図書コーナー」を開設しました。本を通じ、皆様が平和について考えるきっかけになればと願っております。

- 開催期間：令和5年7月28日(金)～8月31日(木) ※休館日を除く
- 開催場所：①一般向け … 中央・滝野川・赤羽図書館  
②児童向け … 区内全図書館(子ども図書館、児童コーナー、子ども室等)

中央図書館では、北とぴあ地下1階展示ホールで行われる平和展(8月1日(火)～5日(木)まで)に「78年前の戦争～史料が語る区民生活～」と「ドナルド・キーンと平和2023」の二つのテーマでパネル展示をします。また、「平和展」終了後には、パネル展示を引き続き中央図書館にて8月6日(日)～31日(木)まで行います。ぜひ、足をお運びください。

### NHK 大河ドラマ「青天を衝け」DVD入荷しました

北区に縁の深い渋沢栄一翁の生涯をつづった2021年放送のNHK大河ドラマ



「青天を衝け」が、このたびDVD化され、中央図書館で貸し出しを開始しました!!全12巻になるDVD版「青天を衝け」は、現在1・

2巻を中央図書館で所蔵しており、

8月初旬に3・4巻、9月以後毎月

1巻ずつ収蔵していく予定です。各巻3話ずつ収録さ

れており、特典映像も充実しています。来年2024年には、北里大学・北里柴三郎氏、津田塾大学・津田梅子氏とともに、新札の顔となる渋沢翁。幕末から昭和まで、

激動の時代に翻弄されながらも、高い志を持って未来を切り

[DVD] 大河ドラマ 青天を衝け vol.1 開いていった波乱万丈の人生ドラマをもう一度、ぜひご覧ください。  
書誌番号：B13263445





# 北区の部屋だより



2023年9月 第169号

刊行物登録番号 4-2-135

編集発行: 北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 Tel.03-5993-1125 令和5年9月発行

北区  
こぼれ話  
第169回

## ひふくしょうあと 二つの被服廠跡 ほんじょよこあみちよう 本所横網町と赤羽



大正12年(1923)9月1日、関東大震災が発生しました。本年(2023)で、それから100年を数えます。関東大震災と言えば、本所横網町の被服廠跡で多くの人々が亡くなったことが知られています。その場所は、現在、東京都立横網町公園となっており、東京都慰霊堂があります。この慰霊堂は、関東大震災のほか、東京大空襲の慰霊の場でもあります。

被服廠とは、軍服や軍靴などを製造していた陸軍被服本廠のことです。被服廠跡という言葉は、当時、すでに陸軍被服本廠が、別の場所に移転しており、そこには無かったということを示しています。

陸軍被服本廠の移転先は、赤羽でした。現在のヌーヴェル赤羽台(赤羽台団地)の場所に移されていたのです。赤羽には、明治24年(1891)陸軍の被服倉庫が設置されました。軍服などの倉庫です。本所の被服本廠は、大正8年に赤羽被服倉庫の周辺へ移されますが、それについて「陸軍被服廠歴史概要」(『創立五十周年記念写真帖』陸軍被服本廠、昭和10年)は「本廠庁舎及倉庫ノ本所及赤羽ニ分置シアルノ不利ナルニ鑑ミ之ヲ赤羽ニ集中スルコトシ

大正八年八月工事落成ト共ニ本廠ノ全機関ヲ挙ケテ赤羽ニ移転シ業務愈々整備スルニ至レリ」とあります。陸軍の被服についての機能を赤羽に集約したというのです。これは、本所の被服廠周辺が都市化し、用地の拡張が困難であったのに対し、赤羽の台地上であれば拡張が容易であり、しかも、軍用引込線や貨物駅の利用など、鉄道の便が良好であったことなどの理由が考えられます。

このようにして、赤羽の被服本廠は、日本陸軍の被服製造の中心を担ったのですが、昭和20年(1945)の敗戦とともに、被服本廠は操業を休止します。まさに、こちらも被服廠跡になりました。米軍に接收され、TOD(Tokyo Ordnance Depot 東京兵器補給廠)第3地区として、戦車の修理などに使用されました。そして、日本への返還後の1960年代、日本住宅公団により赤羽台団地が建設されていきました。近年、ヌーヴェル赤羽台へ建て替えられましたが、スターハウスなどの歴史的価値が認められ、41号棟から44号棟までの4棟が国の登録有形文化財となりました。

【地域資料専門員 黒川徳男】



■ 赤羽の陸軍被服本廠正門  
(『陸軍被服本廠創立五十周年記念写真帖』昭和10年)



■ 赤羽台団地 43号棟スターハウス

## 北区の部屋・今月の展示 「王子駅開業 140 周年」

【展示期間】 8月25日(金)～9月27日(水)

【展示場所】「北区の部屋」企画展示コーナー

今年は、1883年(明治16)に王子駅が開業してから140年になります。王子駅と同時に開業したのは、上野・浦和・上尾・鴻巣・熊谷の各駅です。北関東や秩父で生産された生糸は、この路線を用いて横浜へ運ばれ、海外へ輸出されていました。

今回の展示では、開業以来の王子駅の移りかわりについて、写真や地図などを用いてわかり易く説明します。



王子停車場

■明治43年 王子停車場  
(「東京近郊名所図会」3 (東陽堂、1910年))

## 歴史講演会・開催のお知らせ 「知りたい、見たい 瀧野川牛蒡と瀧野川人参」

幻の存在と言われた瀧野川牛蒡と人参が区民の手で復活しようとしています。それはどのような形、色、大きさ、味なのでしょう。東京各地に伝わる江戸東京野菜の一つとして、その特徴や経緯を学びます。

- ◆日時◆ 10月1日(日) 午後2時～4時
- ◆場所◆ 中央図書館3階ホール
- ◆講師◆ おおたけみちしげ 大竹道茂氏(江戸東京・伝統野菜研究会代表)
- ◆対象◆ 区内在住・在勤・在学中で中学生以上の方優先
- ◆定員◆ 40名(多数申し込みの場合は抽選)
- ◆申込◆ 往復はがきに必要な事項記入の上、お申込みください。9月13日(水)(必着)まで。



瀧野川八幡神社で収穫された瀧野川牛蒡。

- ① 往信用裏面 … 講演名、郵便番号、住所、氏名(よみがな)、年齢、電話番号
- ② 返信用表面 … 申込む方の住所、氏名を記入
- ※ 視覚、聴覚障害のある方は電話申込、またはファクス申込可。
- ※ 障害のある方で付添いを必要としている方は1名まで可(申込時にその旨記入のこと)。
- ※ 会場にはヒアリングループ補聴援助システムが設置されています。

- ◆問合せ◆ 北区立中央図書館図書係 (企画・運営:北区図書館活動区民の会・地域資料部)  
〒114-0033 北区十条台1-2-5 / TEL:5993-1125 / FAX:5993-1044



## 「北区の部屋」の資料、提供しています！

「北区の部屋」では、北区に関する様々な資料を所蔵しています。「北区に関するものは何でも」を合言葉に、古い地図や写真、絵葉書など、本以外のものも積極的に集めており、それらの資料を必要とする方々に提供するサービスを行っています。

今年は、「関東大震災」発生から100年目ということもあり、ここ最近、震災に関する問い合わせが増えてきました。そしていくつかの企業や公共機関に被災写真などの資料を提供しました。

今後、区内のイベントに参加したら、それらの写真が飾られているかもしれません。ぜひ、チェックしてみてください。



■関東大災害画報  
(啓文社、1923年、書誌番号: B12780901)





# 北区の部屋だより

2023年10月 第170号



刊行物登録番号 4-2-135

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和5年10月発行

北区  
こぼれ話  
第170回

## 村を安定的に治めるには



江戸時代、村の運営全般を担う村の代表者を名主なぬしといいます。名主は、村に賦課される年貢ねんこうを百姓たちから徴収ちこうしゆうして納入する責任者であり、村民の出生しゅっしゆうや死没、婚姻けんこんや奉公ほうこうなどによる入籍にゅうせき、離籍りせきなども管理しました。領主（代官）からの触ふを村民に徹底させることも名主の役割で、村で最も重要な役職といっていでしょう。何代にもわたり同じ家が名主役を務める世襲制せしゆうせいや入札（選挙）で選任する入札制、ある特定の家が一年交代で務める年番制ねんぱんせいなど様々な選び方がありました。

では、実際にどの方法で選べば村のためになったのでしょうか。農政全般にわたる手引書である『地方凡例録』という資料では、関東と関西を比較しながら、次のように紹介しています。（\*注）

まず、関西ですが、特定の家が代々名主役に就任する機会が多く、たとえ裕福な家の出でもその家筋いえすじの者でなければ名主役に付く事はできないといっています。こうした場合には名主の威厳いげんが高くなり、村民は名主のいうことをよく聞くので村は安定しますが、特定の家



のみが名主役を独占することで威勢ために任せわがままになり、結果「百姓の為ためならざる儀」も少なくないというのです。

一方、関東では、以前は関西同様世襲制の村が多かったのですが「百姓の為ために宜よろしからざること」が多く、結果、一年ごと順番に務める年番制の村が増えたといっています。こうして私利私欲しりしよくに溺れる名主はいなくなるのですが、これまで仲間内であった普通の百姓が務めているので、威厳ためがなく村民がいうことを聞かず、結果、村内が「不取締ふとりしまり」になってしまうというのです。

どちらが村のためになるのかといえば、結局『地方凡例録』は「両端の内何れが是ならん、分かち難し」、つまりどちらが勝っているか判断できないと記しています。それでも同書は、どんな俊才しゅんさいな奉行ぶぎよう、代官でも大勢の百姓一人一人を教導きょうどうすることは不可能で、村を安定的に治めるには、やはり名主の手腕てんぱんにかかっていると断言します。

いうまでもなく、村内の百姓たちが指示を聞いて従う程度の威厳ためがあり、かつ私利私欲に走らず、公明正大に村を運営してくれる人物が名主役を務めてくれることに越した事はないのですが……。皆さんだったら江戸時代の北区民たちにどうアドバイスしますか？

ちなみに北区域では世襲制の村が多かったようです。

【地域資料専門員 保垣孝幸】

（\*注）村の代表者としての役職名しやうや きもいりは庄屋、肝煎と地域によって様々。『地方凡例録』でも庄屋と表現されている箇所もありますが、ここでは北区域で用いられていた名主で統一しています。『地方凡例録』（上・下巻）は北区の部屋で閲覧できます。（書誌番号：B12833255/B12776631）

## 北区の部屋 今月の展示

# 育て！瀧野川ゴボウ

はしゅさい  
～瀧野川八幡神社の播種祭、収穫祭の記録～

■展示期間：9月29日（金）～10月25日（水）


■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

かつて瀧野川地域で盛んに作られていた瀧野川ゴボウ。この江戸・東京ブランド野菜を広く知ってもらおうと、現在さまざまな活動が行われています。今回の展示では、昨年、瀧野川八幡神社で行われた瀧野川ゴボウの播種祭および収穫祭の様子を紹介します。



## 『「北区」が登場する本のリスト』を更新しました！

★北区立図書館では、“北区”に関する記述のある本の目録『「北区」が登場する本のリスト』を作成し、毎年10月に情報を追加しています。今年も区内全図書館に更新したリストを置きましたので、ご覧ください。

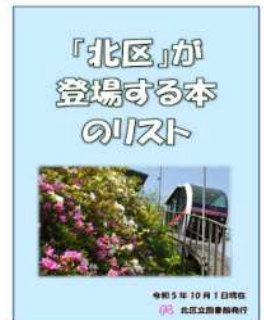
★リストにある本には背表紙に【さくらマーク 】が貼ってあります。お手に取ってどんな“北区”が描かれているか、ぜひチェックしてみてください。

※リストは図書館ホームページでもご覧いただけます。

【北区が登場する本】の情報は随時募集中です。

“北区”の記述がある本を発見しましたら、各図書館に置かれている用紙、『北区が載っている本を教えてください』に詳細を記入し、図書館のスタッフへお渡しください。皆さまからの情報を、お待ちしております！！

用紙は、  
各図書館の  
カウンターや  
記載台に設置  
してあります。



北区が載っている本を教えてください	
著者名	
書名	
発行元	
発行年	
ISBN	
備考	
ご記入のうえご返送ください	
〒114-8501 東京都北区赤羽5-1-1 北区立図書館	
TEL: 03-5320-6862	
FAX: 03-5320-6863	
受付時間	月～金 10:00～17:00
休館日	土・日・祭日

今年も開催します！

## ～東京文化財ウィーク 2023～



■東京都教育委員会では、毎年11月3日（文化の日）を中心に、都内全域の文化財の公開やさまざまなイベントを実施する『東京文化財ウィーク』を開催しています。

詳しくは東京都生涯学習情報ホームページの東京文化財ウィーク情報・文化財情報データベースをご確認ください。（ガイドブックの配布はありません）

■『東京文化財ウィーク 2023』開催期間

◆特別公開事業

10月28日（土）～11月5日（日）

◆通年公開・企画事業

10月1日（日）～11月30日（木）

■問合せ先：東京都庁

◆地域教育支援部管理課文化財保護担当

電話：03-5320-6862

<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/week.html>